

平成30年度 串間市立本城小学校 学校関係者評価書

※ 評価・・・大変良い 4点 良い 3点 もう少し 2点 改善を要する 1点

評価項目	評価指標	具体的手立て	達成状況及び対策	自己評価	関係者評価	学校関係者評価コメント
1 学力向上	(1) 基礎・基本の確実な定着	<p>① 諸学力調査の分析・活用</p> <p>② 単元テスト平均85点以上</p> <p>③ 年間を通した読書指導(読書週間や図書委員会発案の取組等実施)</p>	<p>① 全国及びみやぎ学力調査の分析を行い、今求められている学力についての共通理解を図って、日々の授業改善に取り組んでいる。校内研究の継続によって成果が表れている。今後も継続していきたい。</p> <p>② 単元によってばらつきがある。思考を要する問題にまだ課題があるが説明できる力が育ってきている。指導を継続し、差を減らしたい。</p> <p>③ 学習内容に沿った読書に取り組みせたり関連の本を紹介したりしている。また、読書週間を設定して読書量調査を行い、読書意欲の向上を図っている。特に、図書委員会の発案による「読書ビンゴ」や「ビブリオバトル」、放送委員会による本の紹介などで、本への関心を高めている。読書量の個人差が大きいので、読む楽しさを知る指導を工夫したい。</p>	3	4	<p>○ 学力検査の結果が示すように素晴らしいと思います。日頃の先生方の努力が見えます。</p> <p>○ 完璧な成果というのは、なかなか難しいことですが、いろいろな工夫をされていて、今後の伸びが楽しみです。</p> <p>○ ②単元テスト平均85点以上の目標の立て方が難しかったのでは？。例えば全国平均或いは県平均に対しての目標値にしたらどうだろうか。CRT結果は、3・4学年を除貴全国平均を上回り、評価できる。また、昨年度は前年度の結果に対し、低下傾向が強かったが、本年度は3・4学年を除き向上し、評価できる。</p> <p>○ B問題の指標がA問題を上回る結果も出ている。アクティブ・ラーニングの活用で良い結果につながっているとの説明があった。これは驚くべき素晴らしいことです。昨年5年生算数B問題が県学テ27点だったのが、今年6年生になって、全国学テ算数、国語共にAB差のないほどになっているが、これも指導の成果ととらえてよいのでしょうか。</p> <p>○ 29年度に比べて、思考を要する問題に課題が残るも、説明できる力が育っている(①のB問題使用の一部改善された)ことは重要です。</p> <p>○ 教育委員会の話によると、本城小の学力は高いと聴いています。今の指導を続けてもらえばいいと思います。</p> <p>● 読書ビンゴやビブリオバトルで工夫がなされていて、関心や意欲も高めているとのことですが、読書量に個人差が大きいとのこと。過去取り組んだ「何冊読む」指標の設定も必要でしょうか。</p> <p>● 読書量の個人差があるようですが、読書感想文を書かせ、賞を与えるといいと思います。</p> <p>● ③読書への取組については、いろいろな方法での努力が見られるが、学校単独では困難と思われる。保護者を巻き込んで読書への関心をもたせるのが肝要と考える。評価委員会でも出た、簡単な同じ本を保護者と読んで、本の感想文を求め、保護者とのコミュニケーションをとるなども一例か。</p>
	(2) 学ぶ意欲の育成	<p>① 学習態度週間の実施</p> <p>② アクティブ・ラーニングの推進強化(全職員の研究授業)</p> <p>③ 表現力の育成(リレー作文、宮日投稿)</p>	<p>① 毎学期学習態度をチェックして低い項目について指導することを繰り返し、徐々によくなっている。</p> <p>② アクティブ・ラーニングについて昨年度から継続して校内研究で取り組んでいる。校内での研究授業と学校支援訪問時に国語(物語文、説明文)を行い、日々授業改善に取り組んでいる。</p> <p>③ 週末作文の課題を全学年で出し、よい作文は宮日新聞に投稿し17回掲載された。また、書道も14回掲載された。投稿採用されなかった作文も学校便りの裏面に載せ、意欲付けを図っている。給食時の放送を使ったリレー作文も3学期に始め、意欲の喚起に努めている。</p>	3	4	<p>○ 児童数の少ない中で、17回も掲載されるなど、表現力が身につけて来ていると思います。</p> <p>○ アクティブ・ラーニングについては、先生方の意欲が感じられ、それが子どもたちにも伝わっているようです。作文などの表現力もすごく伸びている。自ら応募するなど、能動的な姿勢も素晴らしいと思います。</p> <p>○ 学校通信は地域とのつながりにすごく良いことだと思います。また、裏面の作文、いいですねー。子どもたちが感じたことの表現が素晴らしい。1年生も大変上達してきました。</p> <p>○ ①学習態度に落ち着きのない児童が増加する昨今、先生方の御苦労を察します。学習態度を毎学期チェックし、指導での改善が現れているとのこと、地道な指導が必要と思える。</p> <p>○ ③作文・書道の宮日新聞への掲載が多く、喜ばしく目にしているが、内容も素晴らしい。また、青少年の声を聴く会での6年生男児の発表も素晴らしかった。(考勤！に感銘)</p> <p>○ 授業参観において、どの学年も子どもたちがよく手を挙げて発表している姿は、授業に対する意欲の高まりを感じます。先生方の指導力も向上しているようです。学習態度の低い項目について指導を強化し、徐々によくなっているとのコメントは昨年と同じですが、昨年もう一歩との評価の記載が今年は消えています。これは前進ですか。</p> <p>○ 宮日掲載は昨年8回、今年17回と素晴らしいが、投稿採用されなかった作文が学校便りに載せられ、意欲付けになっていることは更に重要です。</p> <p>○ 宮日というメディアを使って子どもの作品を掲載していることは大変いいと思います。</p> <p>○ 学校便りで地域の人にも読んでもらうのは大変いいことです。</p> <p>● 昨年度に引き続き校内研究など日々授業改善に取り組んでいるとのこと。特に国語に力点が置かれているようですが、難しいかもしれませんが算数にも研究授業等の機会増を。</p>

評価項目	評価指標	具体的手立て	達成状況及び対策	自己評価	関係者評価	学校関係者評価コメント
2 生徒指導の充実	(1)望ましい人間関係の育成	<p>① いじめ・不登校対策委員会の実施と充実</p> <p>② 挨拶と正しい言葉遣いの継続的指導の推進（児童・保護者意識調査80%以上）</p>	<p>① 毎月1回全職員で対策委員会を開き、指導の方針を共通理解し、専門機関にもつなぐなど、取り組んでいる。それぞれの事案は解決したり、よい方向に向かっていたりしている。</p> <p>② 意識調査では、児童（挨拶 70.7%、言葉遣い 74.6%）保護者（71.3%、63.6%）である。校内での挨拶はよいが、学校外での挨拶に課題がある。また、校内での言葉遣いは全般によいが、時折思慮のない発言や粗野な発言が見られるため、その場指導や「ふわふわことば」の指導を繰り返している。</p>	3	3	<p>○ 自己評価結果説明にもありましたが、毎月1回の対策委員会を開くなどして、事案は存在するものの、解決あるいは良い方向にあるとのことで、顕在化したものの対応は休心できます。ただ、陰湿なものは見えにくいです。アンケートを更に工夫して「芽」の察知を図ってほしい。</p> <p>○ ①いじめ・不登校対策委員会を毎月実施され、また、専門機関などとの連携もある由、大きな問題になる事前対応が見られる。先生方の児童への接し方が児童目線で非常に良い。</p> <p>● ②あいさつは、礼儀作法の一つであるが、相手を敬い、心開く一方法とも言え、大事なコミュニケーションの一つでもあろう。根気強く指導し、明るい素直な児童育成をお願いしたい。</p> <p>挨拶意識調査は児童・保護者共に80%以上の目標には届きませんでした。「すごい・元気にあいさつ」が年を追うごとに低下しています。あいさつは人生の基です。他のアンケート項目はそれほど目立つ悪化はありませんので、地域住民の目が注がれる学校外あいさつに指導を傾注していただけたらとありがたい。あいさつチャンピオンはどうなりましたか。</p> <p>● 校内と外での違いは大人でもあることと思います。家庭で粗野な雰囲気の有無も気になりますが、チェックは困難だと思います。</p> <p>● いじめの問題は対策が大変だと思います。その都度解決をしていただき、また、それが難しいときは、私たちにも相談してください。</p> <p>● 本人が気付かないうちに、いじめをしていることがあるので、いじめについての指導が必要。</p>
	(2)校内の美化や整理整頓	<p>① 無言清掃の徹底</p> <p>② くつ、ぞうきん、トイレのスリッパの整理整頓徹底及び継続的な指導の継続</p>	<p>① どの児童も清掃には真面目に取り組んでいる。無言清掃の徹底まで至っていないが、3学期から進め方を再指導し、よくなってきている。</p> <p>② くつは、きれいに並んでいることがほとんどである。児童全員が使うトイレであるため、全てが並んでいることは少なかった。生徒指導部を中心に、揃っていることの満足感や他を思いやる心を育てるよう指導し、よくなってきている。</p>	2	2	<p>○ 整理整頓はできていると思います。いつもきれいでした。</p> <p>○ 再指導で改善されているのは良いことです。</p> <p>○ ①無言清掃：児童アンケートでは81%と高い。3学期からの再指導でよくなっていることは評価できます。</p> <p>○ 時々トイレを使用しますが、スリッパはきれいに並んでいます。そうじもまじめにしています。</p> <p>● ①無言清掃は、集中力を養う一法かもしれませんが。短時間で終了する喜びを学ばせてはいかがでしょうか。</p> <p>● ②整理整頓は大人もなかなか難しい課題です。見た目の美化は勿論ですが、次使う人の使い易さ（思いやり）、効率の良さ（時間短縮）を目的とし、社会生活を営む上では大切な事柄です。根気よく進めてほしい。</p> <p>● トイレのスリッパを減らすことで工夫されたようですが、休み時間に一度に多くのトイレ利用が必要なときは大丈夫ですか。</p>

評価項目	評価指標	具体的手立て	達成状況及び対策	自己評価	関係者評価	学校関係者評価コメント
3 体力の向上	(1) 体力づくり	<p>① 体力テストで県平均を上回る(96項目中65項目以上) 朝のウォーミングアップタイム徹底や昼休みの外遊び推進</p> <p>② 持久走強化週間・なわとび強化週間</p> <p>③ 徒歩通学</p>	<p>① 昨年度の57項目から68項目に向上した。日常の外遊びの推奨や朝のウォーミングアップタイムの効果が出てきたものと思われる。</p> <p>② 持久走週間(11月)、なわとび週間(1月)を設定し、持久力や巧緻性の向上が図れた。その後、体育で継続して取り組んでいる。</p> <p>③ ほとんどの児童が徒歩通学できているが、できていない児童が昨年度よりも増えている。保護者を含めた生活習慣の改善指導に取り組んでいるところである。</p>	3	3	<p>○ ①②で効果が出てきているのは素晴らしいことです。子どもたちのがんばりと共に指導される先生方のがんばりも素晴らしいです。</p> <p>○ ③評価委員会で出された意見の通り、車使用の事情もあるかと思いますが、ここまでは車を止めると決めて周知を図られたらいいと思います。送られる子どもにとっても、他からの視線・思いが気になるかと思います。</p> <p>○ ①体力テストの結果が昨年度の57項目から68項目へ向上したことが評価できる。何をなすにも体力は大事。今後も休み時間の遊びを活用しての体力増進を維持してほしい。</p> <p>○ 体力テストの結果が68項目に回復したのはよい。継続して体力作りを。</p> <p>○ 昼休みに校長先生が子どもとサッカーをされていますが、大変いいことだと思います。</p> <p>● 通学について、遠いところの児童は自宅から徒歩が難しい場合、せめて喜久屋前の駐車場まで車で、後は徒歩と決めた方がよいと思います。学校への坂道は狭いし、車の通行で交通安全も心配です。</p> <p>● ③徒歩通学には、地域で通学距離が違うが、通学距離と体力の関係はどうでしょうか。徒歩通学は体力増進効果を生むと考える。保護者への協力呼びかけを願いたい。</p> <p>● 徒歩通学も体力づくりの1つだと思います。そのためにも保護者の協力が必要だと思います。</p> <p>● 徒歩通学については、生活習慣の見直しが大事だと思います。(例えば、早起きのくせをつけさせるなど)</p>
	(2) 食育の充実	<p>① 早寝・早起き・朝ごはんの推進(児童意識調査80%以上)</p> <p>② お弁当の日3回以上実施「食」に関する指導の充実</p>	<p>① 児童意識調査では、82.8%である。多くの児童はできているが、特に朝食の内容については充実していない家庭もあり、保護者への啓発を繰り返している。</p> <p>② 遠足の時に保護者に呼びかけ2回実施した。3月の遠足時に3回目を実施予定である。また、串間中学校の栄養教諭を招いての「食」に関する指導にも全学年で取り組み、児童の「食」への関心を高めている。</p>	3	3	<p>○ お弁当の日はとても楽しみにしているようです。朝の登校の見守り時に「今日のおかずは○○よ」等、とてもニコニコして教えてくれます。</p> <p>○ 私の叔母が小学校教師をしており、終戦後しばらくは朝食はおろか弁当すらない子どもたちに弁当を持って行き、飢えから救っていました。世界の中で最も憂いのない日本です。その中で朝食を摂れない(摂らない)児童をなくすことは、児童虐待を防ぐ琴と同じと考えています。</p> <p>● いつも申し上げていますが、「いただきます」とは食べるものすべてに命が宿っていたことを知り、尊い命を自分の生命維持に捧げてくれたことへの感謝です。食を通して食べ物や命に感謝する心を是非育ててください。</p> <p>● お弁当については、遠足意外にも実施したらいいと思います。私たちの頃は、お互いにおかずの交換をしたものです。</p> <p>● ①朝食は体力の源。保護者の協力・理解が肝要。②母親の作ってくれた遠足弁当が楽しかった思い出として残るでしょう。今後も楽しい弁当の思い出が残せるよう計らってほしい。</p> <p>● ①朝食を摂らせない(準備しない・食べたいのを気に止めない)のは、理解に苦しみますが、朝食を摂らないことの弊害を強く発信してください。</p>

評価項目	評価指標	具体的手立て	達成状況及び対策	自己評価	関係者評価	学校関係者評価コメント
4 家庭・地域との連携	(1) 家庭・地域との連携	<p>① 授業等における外部人材の活用(キャリア教育の推進)</p> <p>② 学校から地域への貢献活動</p> <p>③ 家庭学習の徹底(児童意識目標80%以上) 家庭への働きかけ強化</p>	<p>① 動物愛護センターによる「命の授業」や見学等で働く方々へのインタビュー等、昨年度よりもその機会が増えた。</p> <p>② ナイトレンジャー、千野浜や崎田浜のそうじ、コスモス・ひまわりの種植栽や花見会に参加した。また、「計算トランプ」も参観日に地域の方を招いて紹介した。</p> <p>③ 児童意識調査では、学習時間 76.7%、決まった場所で学習 78.4%で、目標には達せなかったが、宿題等の提出はほとんどの児童ができています。できていない児童への指導と保護者の啓発を繰り返し行っている。</p>	3	3	<p>○ ②については「4」の評価をしたいです。体験から得られる学習効果は強いものがあります。</p> <p>○ ②地域住民とのふれあう機会を多く作られ、大変素晴らしい。極端な児童減少の今日、更なる地域性の強い学校づくりを望みたい。</p> <p>○ 私自身も犬・猫の保護に取り組んでいます。動物愛護センターへ一昨年ご一緒させていただきました。更に啓発の機会に恵まれましたが、子どもたちに積極的にこのような体験をさせていただき感謝です。</p> <p>○ 崎田浜清掃の直後、ウミガメの産卵がありました。きれいな浜で産卵。気持ちもさわやかになります。</p> <p>● ①外部人材による授業や職場見学等の機会が増えたことは、社会知識が増え、将来の夢をもつ良い材料になると考える。今後も考慮してほしい。</p> <p>● ③遊び盛りの年代。難しいことではあるが、地道な指導を願いたい。</p> <p>● ③家庭学習の徹底は、昨年度に引き続き目標値を若干下回りましたが、繰り返し指導と啓発をお願いします。</p> <p>● 地域との関わり合いをどんどん進め、一方では、地域の方からの学校への応援をもらえばいいと思います。</p> <p>● 家庭学習は保護者の協力、参加で目標を達成できるようにすべきです。</p>
	(2) ホームページ等を通しての情報発信	<p>① ホームページの更新</p> <p>② 本校の取組について新聞等への情報提供</p>	<p>① ホームページは現在も更新を繰り返し、昨年3月から、2月20日現在のアクセス数が延べ2万5千件を超えている。</p> <p>② 報道機関に事前に情報を発信し、宮日新聞や市報等に学校行事や活動に関して17回(ミニミニ4回、岬太郎1回を含む)掲載された。</p>	3	3	<p>○ 学校側から発信への取組が、全体の学習意欲アップへつながります。</p> <p>○ ホームページ 時々見えています。学校の様子がよく分かります。新聞も楽しみです。</p> <p>○ ②インターネットを利用できない地域住民に対しても、学校通信「本城っ子の風」を回覧で発信され、学校の現状が把握できる。</p> <p>○ いつもホームページを拝見させていただいております。新聞では、本城小の話題がないか、特に「若い目」などまず探します。掲載されることが本城地区の地域貢献と励みになりました。</p> <p>● ①ホームページの更新で本当によく学校行事や教育の状況がわかります。大変ですが今後も維持継続願いたい。</p> <p>● ホームページ、宮日新聞を使つての情報発信をしてもらい、本城小の名を広めてください。</p>